

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		暴力団排除対策事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060302000746
						単独/補助	単独	所属課	020101
政策体系		政策体系上の位置付け						総務課	
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営						総務グループ	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						総務課	
施策名		03 時代に合った自治体運営						グループ	
手段名		02 ②適切で効果的な事務事業の推進						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	01	02	01	01	02	00	一般会計		
							一般管理事業		
法令根拠		暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律 (平成3年法律第77号)							
【Do】		1. 事務事業の現状把握 (その1)							

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
この事務事業は 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律 (平成3年法律第77号) の趣旨に基づき、市民生活の安定と福祉の増進のため、社会公共の利益に反することとなる暴力団等について、桜川警察署や市民と連携をとりながら、暴力団の排除に関する施策等を定めることにより、暴力団の排除を推進し、市民の安全で平穏な生活が確保できることを目的とする事業である。	担当者が行う業務】 施設利用者の確認、対応体制の整備、連絡網の整備 23年度 暴力団排除条例の策定 素案策定→庁議→パブリックコメント実施 24年度 暴力団排除条例の制定 (6月)。 25年度 県内他市からの暴力団排除に関する署名運動参加 【事業費の内訳】 人件費のみ

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 暴力団排除に関する講習会等への参加 暴力団等の施設利用の確認、対応体制の整備、連絡網の整備。 暴力団排除の署名運動協力 	講習会参加回数	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	暴力団等の不当要求件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	他市等からの暴力団排除の署名運動協力	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 市民 公共施設 	桜川市人口	人	40,483.00	39,682.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
	公共施設	施設	138.00	138.00	138.00	138.00	138.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 暴力団を排除する 市民生活の安定と明るい社会の形成を図る 	暴力団に対する相談件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	犯罪被害にあうかもしれない不安を感じている割合	%	53.70	55.80	50.00	50.00	50.00
				0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	0	0	0
		事業費計 (A) 千円	0	0	0
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

事務事業名	暴力団排除対策事業	事務事業No.	60302000746	所属課	総務課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川警察署からの依頼により、暴力団等反社会的勢力の資金源を断ち、暴力団を排除することを目的に事業を開始。公共施設の暴力団排除に関する条例の制定後、公共施設の使用に関する申込は一件もない状況である。桜川警察署より、暴力団排除条例の制定依頼を受け平成24年6月に条例制定。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
この事業を展開するには、警察署・関係機関との連携を更に密にし、組織あげて取り組む必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 反社会的勢力を排除することは、市民と行政による豊かな地域づくりに結びついているので、間接的には政策体系に結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 行政対象暴力、民事介入暴力が多発傾向にあって、市民が安全で安心して暮らすことのできるセ策を行うことは市の責務である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 市民、市内全域の公共・公益施設を対象としているが、相談の事例はない。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を廃止すると、暴力団等への資金源確保の恐れがあるので、影響がある。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 被対象者が暴力団となっている事業がない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の人件費のみで、削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民の安全と福祉の向上を図ることが目的であるので、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	条例制定後、暴力団等から公共施設の利用についての申請は提出されていないが、仮に申請があったならば、組織で対応し警察署と連携を図り対処しなければならない。市民アンケートによると、犯罪に合うかもしれない不安を抱えている人が2年連続して微増している。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>